

平谷の流したい



無病息災を願う

瀬平区の大井川河川敷で「平谷の流したい」が奉納されました。この行事は町指定無形民俗文化財に指定されており、毎年7月14日に行われています。

当日は小雨が降る中、瀬平区民約25人が集まりました。参加者は麦わらを束ねて作製した直径約3メートルの台座に、青竹の先端を短冊状に裂いた籠を立て、そこにたいまつを入れて「たい」を完成させました。その後、たいまつに点火し河川の安全と無病息災を願う祈りを捧げ、大井川へ奉納しました。

雨の中でも「たい」を見送る参加者の表情には満足感と誇りが漂い、地域の伝統を守る大切さを再確認する機会となりました。

1_5人掛かりで「たい」を大井川へ奉納 2_青竹で作成した輪に麦わらを巻いて台座を作成 3_たいまつを入れる籠を作成 4_台座に立てたたいまつへ点火

